

記念塔

江別市立文京台小学校
学校だより No. 7
令和6年9月25日(水)
TEL 386-7700
FAX 386-7710



【大麻中学校区 めざす子ども像】
ともに支え合い 夢や可能性に向かって
たくましく生きる子ども

【文京台小学校 重点目標】
「なりたい自分」を描き、他と共に高め合う文京台の子
～子ども一人一人を主語とする文京台の教職員～

前期終了の節目に親子で話し合ってほしいこと

校長 田中 美由紀

道ばたのコスモスの花が秋風に揺れています。心と顔を上げるとナナカマドの実が色づき、葉が秋色へと変化しています。まだまだ暑いと思っていましたが、季節はもう秋。地面に根を張る植物たちにはきちんと秋が訪れていたようです。来週は10月です。日没が早くなり、小学生の帰宅時刻も17時になります。

江別市内の学校は2学期制です。今年は10月11日(金)に前期が終了します。終業式の日には、4月から10月までの学習の取組を評価した通知表「はげみ」をお子様とご覧いただき、後期に向けた目標をご家庭で話し合う機会を持っていただけると幸いです。約6か月ある後期は、じっくりと学習に取り組ませながら、『なりたい自分』を描き、他と共に高め合う文京台の子』の育成を目指してまいります。

10月に個人懇談、市内一斉公開日、11月に学習発表会、12月、2月に参観日を実施し、保護者・地域の皆様へ日頃の学習の成果を発表する機会といたします。保護者の皆様はご都合に合わせて無理なくご参観ください。また、参観日以外にお子様の様子をご覧になりたいときは、職員室までお声がけください。

さて、7月24日から9月8日までの長期にわたり、パリオリンピック・パラリンピックが開催され、熱戦が繰り広げられました。選手たちの姿や言葉にたくさんの感動をもらいました。中でも江別市出身の選手の活躍が大きな話題になりました。その一方で問題となったのが、SNSによる選手や審判への誹謗中傷でした。昔から、競技をするうえでの誤審はありましたが、テレビの前で文句を言うことはあったと思います。しかし、SNSで発信するとなると別の問題が生じてきます。それが本人に届くことでどうなるかを想像しなければなりませんし、発信した本人が誹謗中傷のターゲットになる可能性もあることを考えなくてはなりません。言葉は時に相手を深く傷つけます。一度投稿されたものは消えることがなく、「デジタルタトゥー」として残り続けると言われています。匿名性があるように思われますが、SNSに誰が投稿したものは調べればわかることです。以前、情報モラルに関する研修会で『自分の投稿を、自宅の玄関前に大きく張り出すことができますか』これが、SNSに投稿する上での判断基準となるのです』という話を聞きました。お子様の投稿したものや発信したものが何らかの法に触れたり、損害賠償等が発生したりしたときに責任を取るのは保護者になります。文京台小学校でもスマートフォン等の所持率は年々高くなっています。大人もLINEに対象年齢があることを忘れがちです。SNSを含め、スマートフォンやオンラインゲーム等の使用については慎重にしなければなりません。ご家庭で、小学生に持たせる側の責任を自覚した上で、使用上の約束などをはっきりさせたり、フィルターをかけたりするなどの対応は必要なことかもしれません。

6月の学校だよりでも家庭でのルール作りについてお伝えしましたが、この節目に、子どもたちの安全を守るために、もう一度ご家庭で話し合ってください。今月でも取り上げました。便利な道具を安全に利用するために、学校でも、子どもたちに情報モラルに関する学習を継続していきます。